

第8回

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

芸劇^{プラス}トーク

異世代作家リーディング

第9回

高橋源一郎

藤田貴大

徳永京子

トーク聞き手：徳永京子 (演劇ジャーナリスト)

自作自演

保坂和志

岡田利規

トーク聞き手：鴻英良 (演劇評論家)

世代の異なる作家が自作を読み、語り合う。

2人の作家が自作を読み、トークを行う2部構成でお届けします。作家が自らの声で届ける朗読では、作品の新たな魅力を感じ、トークでは、互いの創作への思いが聞けるぜいたくなひととき。作家の世界観をかいま見ることができる、貴重な機会です。

第8回

2014年1月18日(土)

14:00開演 13:30開場

第9回

2014年2月4日(火)

19:00開演 18:30開場

会場

東京芸術劇場 シアターイースト



高橋源一郎

1951年広島県尾道市に生まれる。小説家。明治学院大学国際学部教授。1981年、『さようなら、ギャングたち』でデビュー、『群像』新人長編小説優秀賞受賞。88年、『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞受賞。2002年、『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞受賞。12年、『さよならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞を受賞。他に『官能小説家』『君が代は千代に八千代に』など多数。



保坂和志

1956年、山梨県生まれ。鎌倉に育つ。早稲田大学政経学部卒業。90年『ブレーション』でデビュー。93年『草の上の朝食』で野間文芸新人賞、95年『この人の間(いぎ)』(新潮文庫)で芥川賞、97年『季節の記憶』(中公文庫)で谷崎潤一郎賞、平林たい子文学賞、2013年『未明の闘争』(講談社)で野間文芸賞を受賞。その他の作品に、『カンパセーション・ピース』(新潮文庫)、『生きる喜び』『猫に時間の流れる』『もうひとつの季節』『残響』(いずれも中公文庫)など。エッセイに、『猫の散歩道』(中央公論新社)、『途方に暮れて、人生論』『三十歳までなんか生きるな』(と思っていた) (いずれも草思社) など。創作論に、『書きあぐねている人のための小説入門』『小説の自由』『小説の誕生』(いずれも中公文庫)、『小説、世界の奏でる音楽』(新潮社) などがある。



藤田貴大

撮影：飯田浩一

1985年北海道伊達市生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。2007年マームとジブシー設立。以降年に3~4本演劇作品を発表し、全作品で作・演出を担当。象徴するシーンのリフレインを別の角度から見せる映画的手法が特徴であり、独特な手法で注目を受ける。2012年『かえりの合図、まってる食卓、そこ、きつと、しおふる世界。』にて第56回岸田國士戯曲賞を26歳で受賞。2013年今日マチ子(漫画家)氏の共作漫画『mina-mo-no-gram』や初の短編小説である『N団地、落下。のち、リフレクション。』を発表。同年5月6日『てんとてんを、むすぶせん。』からなる、立体。そのなか、つまっている、いくつもの。ことなつた、世界。および、ひかりについて。』を発表、初の海外公演を成功させる。8月今日マチ子の漫画である『cocoon』を東京芸術劇場シアターイーストで発表し、様々なジャンルの作家・批評家、観客にインパクトを与える。2013年11月12日最新作『モモノパノラマ』を神奈川・新潟・北九州の三都市で発表。



岡田利規

1973年横浜生まれ。演劇作家／小説家／チェルフィッチュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。同年7月『クーラー』で「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005 一次代を担う振付家の発掘一」最終選考会に出演。2007年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』を新潮社より発表し、翌年第二回大江健三郎賞を受賞。2012年より、岸田國士戯曲賞の審査員を務める。2013年には初の演劇論集『遊行一変形していくための演劇論』を河出書房新社より刊行。

高橋源一郎 × 藤田貴大

保坂和志 × 岡田利規

第8回 芸劇+トーク 異世代作家リーディング 自作自演 第9回

第8回 2014年1月18日(土) 14:00開演 13:30開場
第9回 2014年2月4日(火) 19:00開演 18:30開場
●東京芸術劇場 シアターイースト

チケット料金(全席指定・税込)
一般 3,000円 高校生割引 1,000円 25歳以下 2,000円 65歳以上 2,500円
一般発売開始 2013年11月23日(土)

※未就学児はご入場いただけません。
※高校生割引・65歳以上及び25歳以下割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱。 (枚数限定・要証明書)
※障害をお持ちの方：割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは、劇場ボックスオフィスまたは劇場HPまで。

チケット取扱い
東京芸術劇場ボックスオフィス
0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)
http://www.geigeki.jp/t/ (PC) http://www.geigeki.jp/i/t/ (携帯)
チケットぴあ ... 0570-02-9999(24時間・音声自動応答)[Pコード: 433-357]
http://pia.jp/t/ (PC・携帯)
チケットぴあ店舗・セブンイレブン・サークルKサンクスでも直接販売
イープラス ... http://eplus.jp/ (PC・携帯)
ファミリーマート店舗(店内Famiポート)でも直接販売
ローソン ... 0570-000-407(オペレーター対応10:00~20:00)
0570-084-003(音声自動対応)[Lコード:38085]
http://l-tike.com/

お問い合わせ
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)
<託児サービスのご案内>
ご観劇の際には、一時託児をご利用いただけます。公演日の1週間前までにお申し込みください。(有料、定員制)
利用時間：開演の1時間前から終演後30分まで。
利用料金：~1歳児：¥2,000 2~6歳児：¥1,000 お申込み・お問合せ：芸劇キッズルームミュージズ 03-3981-7003
主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
03-5391-2111 http://www.geigeki.jp/
JR・東京メトロ・東武鉄道・西武鉄道池袋駅
西口徒歩2分。池袋駅地下2b出口直結。

トーク聞き手 徳永京子(演劇ジャーナリスト)

トーク聞き手 鴻英良(演劇評論家)